

会員が主役の支部活動をすすめましょう

さかいわ支部ニュース

さかいわ 坂井輪 仲間の輪

2021年3月 NO.178

さかいわ支部長 渡辺 豊（小新西）

新潟勤労者医療協会 坂井輪総支部

弥生

綸言如汗



周囲の雪もすっかり融け、春の足音が聞こえてきます。写真左は旧岩室村にあった石瀬代官所跡です。ここは昔の北陸道に面し、弥彦や岩室への往来がありました。前の与板藩陣屋があった所に、領地替えで宝永2年（1705）代官所が設置されました。赴任した幕府代官も21人を数え、支配地は8万石に及びました。その後新田開発等の領地拡大で、延享3年（1746）水原に代官所が移転するなどしたため数度の休止を経て、文化12年（1815）に廃止されるまで石瀬代官所は存続しました。今から300年くらい前の話です。

写真右は代官所跡近くにある越後曹洞宗の名刹、種月寺の山門です。種月寺は室町時代中期、銀閣寺で知られる8代将軍足利義政のころの創建です。山門の奥には江戸時代に建築され重要文化財に指定された、茅葺屋根の立派な本堂があります。本堂が茅葺屋根の寺院は全国でも数えるほどです。ここには禅宗寺院の建築様式が今も残っています。本堂の周辺は四季折々に姿を変え、趣があります。これから梅、桜、新緑と季節が楽しめます。マスクと手洗いに気をつけて地域の歴史を訪ねてみませんか。

表題は礼記の「綸言汗の如し」です。たまたま森会長の発言があったので書いてみました。「綸言」とは天子の言葉を指し、汗は身体から出れば二度と戻ることはない。すなわち天子の言葉は一度発してしまえば取り消しがきかない。このことからトップの発言はくれぐれも慎重にという意味になります。今年は中国の古典をひもといてみます。

裏面に民医連の月刊誌「いつでも元気」の記事「お金をかけない健康法」を転載しました。皆さん「いつでも元気」誌を読んでみませんか。見本誌は渡辺か友の会事務局へ。